

秋田県立能代西高等学校 中期ビジョン（5か年計画）
 -平成28年度から令和2年度まで-

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

I 学校の現状や課題

本校は、昭和20年に能代市立能代女子実業学校として開校。その後、昭和23年能代農業高等学校、平成6年に能代西高等学校と改称し、平成10年に総合学科を新設、平成27年には創立70周年を迎え現在に至っています。校訓に「勤労至誠」を掲げ、「人格の完成をめざし勤労至誠の精神のもと、心身ともに健康で、主体的に社会の変化に対応できる人材を育成する」ことを教育目標として、地域に貢献する人材を数多く輩出してきました。

本校が取り組むべき課題は、次の2つがあげられます。

- (1) 総合学科の特色を生かし、生徒の適性や興味・関心に応じた実践的・体験的な学習を深め、生徒一人一人の進路の実現を可能にする学校づくり
- (2) 第七次秋田県高等学校総合整備計画にある能代地区専門系統合校（能代西高校と能代工高校との統合）に向けて、本校の特色を継承しつつ、社会の変化や地域のニーズに応えることのできる学校づくり

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

2016年（平成28年）第七次秋田県高等学校総合整備計画(平成28年度～令和7年度)

統合対象校 能代西高校、能代工業高校

再編対象校 二ツ井高校、能代工業高校定時制課程

2017年（平成29年3月）以降の中学校卒業見込者数 能代山本地区

平成29年3月 674人 平成30年3月 639人 平成31年3月 606人

令和2年3月 571人 ～ 令和7年3月 495人

生徒数の減少による長期的な統合等再編整備が計画されている。

2021年（令和3年4月）能代地区専門系統合校開校（能代西高校・能代工業高校）

III 目指す方向や学校像

能代西高校は次のような学校像を目指しています。

- (1) 豊かな人間性と社会を生き抜く資質や能力を育成する学校
- (2) 基礎学力の定着を図り、その上に専門分野の知識や技術を身に付け、社会に貢献しようとする高い志を育成する学校
- (3) 総合学科の特色を生かして、多様な能力・適性等に対応した教育を推進し、生徒の可能性を伸ばす学校
- (4) 地域に信頼される、活力に満ちた魅力ある学校

これまで培ってきた教育活動を更に充実させ、将来の統合校を見据え

- ① 生徒の主体性と自立心を育むキャリア教育を推進し、生徒の社会的・職業的自立を目指します。
- ② 次世代農業や6次産業化に対応できる人材の育成に努めます。
- ③ 生活、家庭、福祉の学習を通して、生活福祉のスペシャリストの育成に努めます。
- ④ 地域産業を担い、地域に貢献できる人材の育成に努めます。

IV 5年間で達成を目指す具体的な目標

(1) ルールを守り、思いやりの心を持った生徒を育て、毎日登校するのが楽しいと思える学校づくりを目指します。

- ① 不登校生徒率 1%未満
- ② 中途退学率 1%未満

(2) 分かりやすい授業づくりを通して、生徒が自ら考え、表現し伝え合う能力を育成します。

生徒の自己評価

- ① 授業が分かる. 90%
- ② もっと学ぼうという意欲がある. 90%
- ③ 発言や発表の機会を通して、自らの考えを述べるができる. 90%

(3) 総合学科の特色を生かし、生徒一人一人の進路を実現します。

- ① ボランティア活動を経験した生徒 100%
- ② インターンシップ、職場体験学習を経験した生徒 100%
- ③ 卒業時進路決定率 100%
- ④ 系列の専門性を生かした進路決定率 80%
- ⑤ 地元（県内）就職決定率 80%
- ⑥ 系列の専門性を生かした四年制大学進学率 8%

(4) 生徒一人一人の活躍する場を設け、生徒の可能性を引き出す教育を実践します。

- ① 部活動、生徒会加入率 95%
- ② 東北大会、全国大会等への出場部活・クラブ数 3

③	課題研究発表会を含む各種研究発表会、コンテストへの参加	・・・	3回
④	卒業時に複数（2つ以上）の資格を取得した生徒	・・・	80%
(5)	地域貢献を通して、地域を支える人材の育成に努めます。		
①	地域企業、事業所と連携した共同研究及び技術研修会	・・・	年間10回
②	社会人講師の授業活用	・・・	年間30回
③	介護職員初任者研修受講修了者数	・・・	10人
④	他校種との授業研究及び交流活動	・・・	年間30回
⑤	学校開放（農場施設見学等）による年間来校者数	・・・	2,000人

具体的な取組等

「地域から信頼され、地域に貢献できる人材を育てる」学校づくり

生徒一人一人の個性や適性を踏まえ、将来の進路選択を視野に入れた系列、科目選択を行い、自らの進路を主体的に実現していきます。

また、生徒の興味・関心に応じた実践的・体験的な学習を深めるために、地域企業や事業所との連携を図り、地域産業の発展に寄与するとともに、地域社会で責任を果たす人材の育成に取り組みます。

1 地域との関わりを大切にされた開かれた学校、信頼される学校をつくります。

- (1) 地域資源を活用した実践的・体験的な学習を深めます。
 - ① HR活動・総合的な探究（学習）の時間
 - ・社会人講師による講話（就労・福祉・環境・国際）、地元企業職場見学
 - ・県内大学等のキャンパス見学、地場産業体験（そば打ち等）
 - ② 地域企業との連携による共同研究と実践学習
 - ・能代市との共同担い手プロジェクト事業（白神ネギの定植と播種）
 - ・商品開発・酒米栽培（地元酒蔵店による地酒加工）
 - ・白神青ネギドレッシング（地元料理長との共同研究）
 - ・介護職員初任者研修（外部講師による講習と介護施設研修）
 - ・チャレンジショップ（移動店舗販売）
 - ・地元建設業協会高校生現場体験事業（重機の操作及び運転講習・測量実習）
- (2) 学習成果を地域に還元し、地域貢献に努めます。
 - ・菜の花畑（春）ヒマワリ畑（夏）コスモス畑（秋）などの農場開放
 - ・花植え体験（地域自治体連携事業）
 - ・そば播き、そば打ち体験（地区PTA交流会）
 - ・農場体験、収穫祭の開催
 - ・車いすリサイクル運動
 - ・特別支援学校との交流授業、合同ボランティア活動
 - ・避難所設置訓練（系列連携合同訓練）
 - ・課題研究発表会（系列研究発表会）

2 地域の将来を支える人材を育成する学習に取り組みます。

- (1) 生物資源系列
 - ・農業の社会的な意義や役割を理解し、能代市との共同プロジェクト事業を通して次世代農業について学習します。
 - ・地域生産物の生産、加工・商品製造、販売といった6次産業化に対応した実践的な学習をします。
- (2) 情報科学系列
 - ・工業分野に関する基本的な知識や技術を身に付け、地域社会のニーズに対応したもののづくりを学習します。
 - ・電気工事士、危険物取扱者などの専門技術の資格取得に向けた学習をします。
- (3) ビジネス系列
 - ・地域事業所とのオリジナル商品開発、空店舗を利用したチャレンジショップなどを通して、ビジネスの意義、役割について実践的に学習します。
 - ・IT産業社会に対応するため、パソコン活用の技能の習得に向けた学習をします。
- (4) 生活福祉系列
 - ・衣食住、保育など生活産業分野に関連する資格取得を目指した学習をします。
 - ・生活福祉のスペシャリストを育成するため、福祉、介護の専門知識と技能を身に付けるための専門的な学習をします。
- (5) 総合進学系列
 - ・広い視野と教養を身に付け、希望進学先に向けた選択科目を学習します。
 - ・系列の学習を生かした、上級学校への進学に向けた学習に取り組みます。
- (6) 生物資源科
 - ・農畜産物の生産から加工・販売に関する基礎、基本的な知識や技術を身に付け、地域の生産者や関連企業団体との連携を図りながら次世代農業について学習します。
- (7) 生活福祉科
 - ・農業を基盤とする生活や福祉に関する専門的な知識や技術を身に付けるために、食物や被服、福祉について学習します。